



◆病院の理念◆

社会のニーズに応える安全で質の高い医療を皆様に提供するとともに良識ある人間性豊かな医療人を育成します。



ライフサポーターとして、患者様と共に歩む看護を目指して

副院長・看護部長 **小野 恵美子**

せもつ病院です。

新年明けましておめでとうございます。皆様と共に、新しい年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

大阪医科大学附属病院
は、特定機能病院として、
高度医療を担う診療およ
び質の高い医療人を育成す
るための教育・研究をあわ

看護師におきましては、チーム医療のキーパーソンとして、常に患者に寄り添いながら、主体的な判断力と行動が求められます。そのために、看護部では看護師の臨床実践能力段階に応じた能力開発を重視すると共に、各職種間の連携を強化し、チーム医療の向上に日々努めております。

学校では、戴帽式が行われ看護学生は「看護の道歩む」という志を心新たにキヤップは、ナイチンゲールの時代から看護師の象徴として親しまれてきました。が、附属看護専門学校の開校に伴い、ナイースキヤップを廃止いたしました。

一部では「キヤップを残し

てほしい」との声も聞かれましたが、清潔面や患者様への対応時に角が接触するなどからキャップレスといたしました。看護師として患者様の立場に立って看護

院として、700名おられますが、65歳以上が半数を占めております。疾病構造が複雑化する中で、高齢の患者様も多く、入院生活を繰り返し治療が行われるケースも少なくありません。このような現状において患者様お一人おひとり、退院ができる不安を軽減して、医療連携センターを中心に、院内での各職種間、ともにより、地域の医療機関、福祉施設との連携を強化し、患者様のＱＯＬの向上に努めております。

看護師は、人々とかかわりの中で、恩を忘れず、助けてくれた人々には恩返しをするといわれています。

「看護師は、人々とかかわりの中で、健康な生活の実現に貢献でき、また、探求心と情熱をもつて皆様の信頼を得る看護師連環に精進してまいります。」

今後とも一層のご支援・ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして素晴らしい年になりますよう、祈念いたしております。



新年のご挨拶―地域のより良い特定機能病院を目指して―

病院長 黒岩 敏彦

新年明けましておめで
うございませ。皆様方にお
かれましては、健やかに新
しい年を迎えられましたこ
とと、心よりお慶び申し上
げます。当院では昨年に引
き続き、患者様に「最新・最
善の医療を安心・安全のま
とに提供すべく、職員一同が
一丸となつて努力してまいり

現実味を帯び、失われたとされる年月にまた1年が加わりました。まさに内憂外患のここ数年です。この病院ニュースが発行されるころには新しい内閣が立ち上がり、日本再生への第一歩が始まっていることを期待しています。そんな中、山仲伸弥教授のノーベル賞受

保健サービスの到達度は日本が世界一であると評価しています。この評価には国民の健康寿命と5歳未満児死亡率の地域格差がないことが大きく影響しており、世界に誇れる日本の医療です。

当院は、915床を有する急性期病院として、特定

対応できまうように、種々に便宜をはかることを目的に、昨年立ち上げました広域医療連携センターが今年度は活動を強めますので、ぜひご活用ください。電子カルテの本格的な稼働は来年を目標に進めており、医療連携を円滑に進めるシステムは先行して今年の春から

導入する予定である。本紙面に掲げる本院の理念を実現すべく、信頼される病院を目指して個々人の患者様の意思を尊重して安全な医療を行い、広域医療連携センターをおとして三島地区の中枢病院を目指し、良質で高度な先進的医療を行う特定機能病院として、そして医学部・看護学部学生の卒前教育の場および医師・歯科医師の臨床研修病院、専門医取得や生涯教育の場を提供する教育研修病院としたい、本年も行動していくと思っております。

機能病院、災害拠点病院、
地域がん診療連携拠点病

導入する予定です。

本紙面に掲げる本院の理

謹んで新春のお慶びを申し上げます

専門看護師・認定看護師って何?!

本号から、専門看護師・認定看護師活動をリレーで紹介させていただくことになりました。そのはじめとして、「専門看護師」「認定看護師」についてまずご理解いただきたいと存じます。

今、さまざまな場面で働く看護職の数は、147万人（2010年10月現在）。超高齢社会を迎える中で、看護の力はますます必要とされています。医療の高度化や専門分野化が進む中で、看護職の専門看護集団である日本看護協会は、高度化・専門化が進む医療現場における看護職の広がりや看護の質向上を目的とし、「専門看護師」「認定看護師」の認定制度資格をつくり出し、た

「専門看護師」「認定看護師」は、求められている能力、知識、技術が異なります。「専門看護師」はある特定分野における専門知識・看護技術はもとより、マネジメントの要素が濃く、「認定看護師」は細かく分野に分かれておりより臨床に近いといえ、施設内の活動は広範囲にわたります。

「専門看護師」は、「実践、相談、調整、倫理調整、教育、研究」の6つの役割をもち、解決困難な看護問題をもつ個人、家族および集団に対して卓越した水準の高い看護ケアを効率よく提供することを期待されています。資格取得は、大学院教育で特定の看護分野に対して教育・実習を行い、審査を受けます。領域は、「がん・精神・慢性・地域・老人・母性・急性重症・感染症・家族支援」があります。

一方、「認定看護師」は、看護現場において「実践・指導・相談」の3つの役

割をもち、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護を実践し、看護ケアの広がりや質の向上をはかるために貢献することが期待されています。『日本看護協会』主催の6ヵ月以上の集中した教育課程で教育・実習を行い、認定審査を受けて資格取得します。現在領域は、「救急、緩和ケア、手術看護、皮膚・排泄ケア、がん化学療法看護、感染管理、新生児集中ケア、摂食・嚥下障害、脳卒中リハビリテーション、集中ケア、がん性疼痛、小児救急、訪問看護、不妊症、乳がん、認知症、糖尿病、透析、慢性呼吸器疾患、がん放射線療法、慢性心不全看護」の21領域があり、医療の現状を受けてその領域はますます広がっています。『専門看護師』も『認定看護師』も、看護師実務研修5年(3年以上は特定看護分野の実務研修)以上 が求められ、5年ごとに実績を報告し、資格更新することが義務づけられています。

現在大阪医科大学附属病院には、3名の専門看護師と12名(候補生1名)の認定看護師が活動しています(それぞれの領域は、上記文中太文字で示しています。1領域に2名配置しているところもあります)。社会・医療の変化をとらえ、現場のニーズを受けて年々増員し、領域も拡大し看護の充実をはかっています。

お知らせ

次号から、「専門看護師」「認定看護師」の活動をご紹介します!

市民公開講座

第5回
平成24年
11月17日

腰部脊柱管狭窄症
―腰下腿の痛み、
しびれで長く歩けない―

整形外科
根尾 昌志



腰部脊柱管狭窄症とは？
脳から下腿につながる神経の束
がとおっている腰部脊柱管、腰の
背骨の中を上下に走るトンネ
ルが狭くなり、中にある神経
が圧迫されることにより、下腿の痛
みやしびれが出現する病態です。

原因は？
腰部脊柱管が狭くなる原因
は、基本的には加齢変化（歳を
とるにつれての変化）です。



図 脊髄造影側面像(横から見たところ)
造影剤によって脊柱管が白く描出されて
いる。普通の姿勢(左)では、白矢印の部
分が少し狭い程度だが、右のように後屈
する(反る)時、そこがさらに狭くなるだけ
でなく(白矢印)、正常に見えた下の椎間
レベルも狭くなる(黒矢印)ことが分かる。

どんな症状？
典型的には「間欠跛行」とい
う特徴的な症状を示します。間
欠跛行とは、「歩行してしま
うと脚の痛みやしびれが出現、増強して歩けな
くなる。しかし、少し休むと再び
歩けるようになる」ということ
を繰り返す「症状」です。歩く時
は背骨が伸び、元々狭い腰部脊
柱管がもっと狭くなる(図)こ
とで、中を走る神経の圧迫が
さらに強くなり症状が出現しま
す。腰を曲げて休むと脊柱管は
少し広がり神経の圧迫が解除さ
れて楽になります。

治療は？
症状が軽い時は、コルセット
や内服薬、ブロックなどで対処
します。しかし、加齢変化であ
るため狭窄は徐々に進行しま
す。また、神経の圧迫が長く続
くと歩かなくても常時下腿の痛
みしびれがあるようになります。
しびれがひどい場合、手術によ
り治療の効果が期待できます。
手術は、手術しなかった場合と
比べて、手術によるリスク、現在
の症状や生活の質、手術の効果と
危険性、などを総合的に勘案し、
患者様と医師が話しあって決め
ることになります。

災害対策拠点病院として、 訓練を行いました。

近年、大規模災害や局地災害による被災者、帰宅困難者問題、原
発停止による電力不足等が社会的問題となっております。記憶に新
しい、東日本大震災時におきましては、大阪医科大学を中心とした
対策委員会が立ち上がり、被災地域および被災地域周辺の医療機
関等への迅速な医療支援と継続した医師派遣を実施いたしました。
被災地の、1日も早い復興を願うばかりです。

さて、本院は平成9年3月に災害拠点病院に指定されました。災
害時医療救護活動の中心的役割を担うために、平時から院内にお
ける防災訓練やDMAT(災害時医療派遣チーム)の養成、基幹病院
への訓練参加等を行っております。

平成22年4月に消防法が改正されたことを契機に、本院では以
前より運用していた災害マニュアルを大幅に見直しました。それま
で、年に3回実施していた消防避難訓練の内、一番規模の大きな避
難訓練に地震という要素を追加し、地震発生から災害対策本部の
立ち上げ、各部署からの被害報告、通報連絡、避難誘導、救出活動
を行う等、内容を大幅に見直し防災訓練に変更して実施しました。
以降毎年、前年度の防災訓練の反省点を振り返り、ブラッシュア
ップした訓練を実施しております。本年度は、今までの防災訓練に、災
害拠点病院として重要項目である被災者受入れトリアージ訓練を
追加しました。

訓練を実施することで、さまざまな問題点が洗い出されます。人命
救助が優先される中、医師・看護師・技術職員・事務職員それぞれが
自分の役割を再認識し、限られた人員と医療資源をいかに有効に活
用できるか、チームワークだけでなく、指揮命令がしっかりと行える
かが災害対策の大きな鍵を握っていると感じています。



今後もさらに防災
教育・訓練等を充実
させ、本院職員の防
災に対する意識向上
をはかり、これからも
災害拠点病院とし
て、地域住民の方々
に役立てるよう努力
する次第です。

第6回
平成24年
12月15日

肝がんの外科治療
消化器外科
内山 和久



1975年、福岡県を境にして
肝がんは著しく増加し、肺がん
位を占めるようになりました。第4
位を占めるは西日本に多
く、今後5年間は増加す
ると予想されます。その
原因として重要なものは、
C型およびB型肝炎ウイル
スです。肝がんの80%
以上が、これらのウイル
ス感染することによる慢
性肝炎や肝硬変を母地
として発生します。

肝がんの治療には、肝
動脈塞栓(ソレセキ)療法
法、エタノール注入療法、
マイクロ波やラジオ波に
よる凝固(ぎょう)療法
などの保存的治療と、腫瘍を完
全に除去する外科治療がありま
す。肝切除の適応となるのは、肝
機能のよい肝硬変のない患者様
で、肝がん全体の30%前後です。
肝臓は血管に富んだ組織である
ゆえに、肝臓に富んだ組織である
肝臓の枝や門脈が入り込みにく
く、出血の可能性は胃や腸
の手術に比べて高いために、肝切
除の開始は約40年前は輸血が
不可欠で、時には大出血により
命を落とすこともありましたが、
しかしながら、現在では肝臓に
流入する血管、つまり門脈や肝
動脈を時的に遮断して肝実質
を切除するなど、手術手技が進
歩しています。超音波メスや
低温凝固メスなどの手術器具の
開発により、格段に安全な手術
が可能になりました。術後も経
過が良好であれば、2週間以内
で退院できます。



肝臓を切開する超音波切開装置(CUSA)

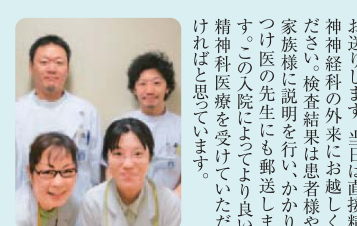
シリーズ 治療の最前線

関西初！メンタルヘルス検査入院について

精神神経科 金沢 徹文

「この1ヶ月間、気分が沈ん
だり、憂鬱な気持ちになった
りすることがありました。また
か？」この1ヶ月間、どうも
物事に對して興味や関心
、あるいは心から楽しめない
感じがよくありましたか？」
うつ病の問診によく使われ
る問いかけです。この2つの質
問にYesと答える人の約88
%がうつ病を疑われる状態だ
といわれます。その一方で「う
つ病は心の風邪です」という
キャベツのイメージに多くの人
がうつ病と診断されながら、
長期にわたる多くの種類の投
薬を受け、それでも病状の回
復が思わしくないケースも社
会問題化しています。
「うつ病と診断されて治療
を受けているけど今ひとつ治
らない。社会復帰ができない
。これから精神科の治療
を受けたらどうか」というよう
な検査を受けたけど、ちゃんと
な方を対象にして、当科では
平成24年11月より2泊3日
で必要な検査を集中的に行
い、他の病気でないことを(除

外)診断することや、心理傾
向などを把握できる「メンタ
ルヘルス検査入院」プログラ
ムの提供を始めました。この検
査の中には、二部で話題になっ
ている先進医療である「うつ
症状の鑑別診断補助に用い
られる光トポグラフィ装
置」による検査も含まれていま
す。同様のうつ病に対する検
査入院は関東では東京大学
病院や国立精神神経センター
などで行われていたことが、関
西では初の試みになります。
患者様はまず、かかりつけ



医の先生に受診していただ
き、かかりつけ医の先生から
当院の医療連携室に「FAX
紹介申込書」をFAXして
いただく、医療連携室が日時
を決定して「受付確認票」を
お送りします。当日は直接精
神神経科の外来にお越し
ください。検査結果は患者様や
家族様に説明を行い、かかり
つけ医の先生にも郵送しま
す。この入院によってより良
い精神科医療を受けていた
ければと思っています。

情報コーナー

院内コンサート

平成24年10月27日(土)午後2時から、
附属病院外来ホールにおいて、本学室内管
弦楽部、グリークラブ、第一内科花房教授、
第三内科浮村教授他による演奏会が行われ
ました。最後に全員で「ふるさと」を合唱し、
来聴者全員が楽しいひと時を過ごされました。



お知らせ

皮膚科の「ストレス・ケア外来」は、平成24年12月
をもって終了となりましたのでご了承ください。

阪神タイガース岩田稔投手が激励訪問！

糖尿病と闘いながら
活躍する阪神タイガース
の岩田稔投手が、12
月9日(日)闘病中の子
どもたちを励ますため
に小児病棟(65病棟)
を訪れ、みんなで楽しい
ひと時を過ごしました。
その後、南副院長から感
謝状をお渡ししました。

